

授 業 科 目 名	倫理学	教 員 名	八重樫 徹	免許・資格 との 関 係	小学校教諭	
					幼稚園教諭	
					保育士	選択必修
授 業 形 態	講義	担当形態	単独	卒 業 要 件	こども音楽療育士	
科 目 番 号	JIN103	配当年次	2年後期		小幼コース	選択必修
単 位 数	2単位				幼保コース	選択必修
科 目						
施 行 規 則 に 定める科目区分 又 は 事 項 等						
科 目	告示別表第1による教科目					
系 列	保育の本質・目的に関する科目					
一 般 目 標	保育者に求められる資質と役割、保育者の仕事内容、保育者の専門性など、保育者という仕事の概論を理解する。また、保育者の学び合う姿勢が目指すべき保育の専門性を向上させていることを理解する。					
到 達 目 標	倫理学上のさまざまな主張の検討を通して、倫理的問題に関する自主的判断能力の育成をめざす。					
授 業 の 概 要	倫理的問題に関する自主的判断能力の育成をめざす。倫理学の基本を学んだ上で、安楽死からAIまで、多岐にわたる具体的なテーマについて、倫理学でどのような議論がなされているのかを学ぶとともに、自らの意見を筋道立てて述べられるようになるためのトレーニングをおこなう。現代社会が抱える複雑で切実な問題について、しっかりとした根拠にもとづいて倫理的に思考し判断する力を身につける。					
ディプロマ・ポリシーとの関係	本講義は、学科のディプロマポリシーに掲げる「1. 社会・教育等に関連する国内外の様々な問題について、現状・課題を認識し、その解決策を考察できる能力を身につけている、2. 教育者としての情熱を持ち、正しい倫理観と責任感を身につけている。」を育成する科目として配置している。					
授 業 計 画	第1回:ガイダンス／倫理学とは 第2回:倫理学の基礎／功利主義・義務論・徳倫理 第3回:死刑制度の倫理 第4回:嘘と約束破り 第5回:自殺と安楽死 第6回:喫煙とパターンリズム 第7回:肉を食べてもよいのか 第8回:中間まとめ／ディスカッション 第9回:食と農の倫理 第10回:気候変動と倫理 第11回:善行と援助の義務 第12回:生命技術と倫理 第13回:AI・ロボットと倫理 第14回:情報技術とプライバシー 第15回:期末まとめ／ディスカッション 定期試験:(出題範囲は第1回～第15回の授業内容から)					
学 生 に 対 す る 評 価	毎回の授業内課題50%、定期試験50%					

時間外の学習について	毎回指定する教科書の該当箇所（もしくは配布する参考資料）を事前に読んだ上で授業に臨んでください。また、事後課題に取り組み、期日までに提出してください。
テキスト	児玉聡『実践・倫理学』勁草書房、2020年。
参考書・参考資料等	必要に応じて参考資料を配布します。
担当者からのメッセージ	
オフィスアワー	